

## 「令和五年田宮流講習会・審査会vol2」



前号に続き今回初参加の皆様の感想を掲載させていただきます。今号は井上さんと大誠君の記事になります。



2023年11月19日、田宮流居合講習会および審査会へ初めて参加いたしました。

1級受審の緊張状態の中、講習会から始まりました。講習会では、想定敵との間合いの取り方を学び、普段の稽古において自分が想定敵をイメージ出来ていなかったこと、また敵との間合いは思っているよりも近く、その間合いの中で如何に無駄なく動くことが必要か、を知り大変勉強になりました。

審査会は、帯刀した状態から始めることになり、普段の稽古と違った状況で正直焦りました。

「礼法を終えたところから稽古どおりに演武すれば良い」と自分に言い聞かせて審査に臨めたことは、稽古で学んだ精神の鍛錬の賜物かと思っております。

清水先生を始め、前日の模試で三宅さん、吉村さんにご指導いただいた点を意識しながら5本の演武を行いました。普段の稽古とは違う環境と多くの会員、宗家、諸先生方々に観られながらの演武は緊張もしましたが、楽しみながら行えたことも良かったと思っております。

宗家のお話にありましたが、今後も稽古および日常生活の中で心身の鍛錬を行い、日々修行に精進して参ります。

井上 洋一

僕は、居合を始めて約一年が経ち、初めて審査会を受けました。

初めての審査会で一番心に強く残った思いは、「なぜいつも失敗しない所で、失敗したのだろう。」という思いでした。

刀が引っかかって、抜刀出来なかったり、技の形を間違えてしまったり、本番の時、合格するかすごく不安でした。

自分の本番が終わり他の人の本番を見ていた所、他の人の技がとても綺麗でした。

その技を見て、「早く他の人に追いついて、多くの技を覚えて強くなりたい」と思いました。

柿崎 大誠

